



# 高水地協ニュース

連 合 長 野  
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 宮本多喜広

〒383-0022 中野市中央 1 丁目 9-15 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575



2020春季生活闘争開始宣言集会

2020 春季生活闘争開始宣言集会は、議長挨拶のあと連合長野の根橋事務局長による単組役員研修と小松事務局長による春闘オルグを中心とした二部構成で行い、その後に単組代表者による近況報告、闘争開始宣言を採択して閉会しました。今号は、紙面の都合で単組役員研修の講義を中心に掲載します。

日 時：2020 年 2 月 8 日（土）午後 3 時～

会 場：魚がし（中野市内）

参加者：23 単組 64 名

## 荻原議長挨拶

2020 春季生活闘争は、連合長野は 1 月 17 日の地方委員会において方針を決定し、賃金カーブ維持分 4,500 円と賃金水準引き上げ分 5,000 円に格差是正分の 1,000 円を加えて 10,500 円の引き上げを求めていることとなった。県経営者協会は、「中小企業を取り巻く経営環境は、景気後退局面入りも懸念される中、先行きへの不透明感も加わり、一律に基本給のベースアップが行える状態にはない」として「短期的な成果は基本給でなく、賞与・一時金に反映することが基本」との姿勢を示している。また経団連は「年功序列の日本型賃金は時代にそぐわない」とも言っている。

戦後の経済成長を支え、日本がここまで発展してきたのは、年功序列型賃金の下で働いてきた私たちの先輩方であり、結婚・子どもの教育・マイホームなど、時代が変わっても年齢とともに必要なお金が増えて

いくことに変わりはない。

今、労働組合の組織率は 2 割に満たない状況だが、私たち組織された労働者がシッカリと春闘に取り組み、その結果を末組織労働者や公務員組合へ波及させ、すべての働く人たちの賃金の底上げを図っていく必要がある。本集会以降、各単組において積極的な交渉を展開していただくことをお願いする。

次に、政治の話も触れたい。1 月 20 日から通常国会が始まった。「桜を見る会」「I R 汚職」「河井議員夫妻の公職選挙法違反」に対し野党が追及しているが、政権はこれまでと同様に公文書の改ざん・隠ぺい・破棄を繰り返し、「ご飯論法」と揶揄される答弁に終始している。偶然見ていた国会中継で、「桜を見る会」の地元後援会への募集について質問された際、安倍首相が「募集ではなく募ったという認識だ」と答えたの



には、怒りとかという感情ではなく、呆れるというか私たちの税金を使ってこんなくだらないやり取りをしていることにばかばかしさを感じたし、同じような思いをしている国民も多いと思う。野党もシッカリとした証拠を示し追及しないと、政権の支持率が下がっても、それが野党支持につながらない。衆議院議員の任期は来年 10 月 25 日だが、2009 年に麻生内閣時の解散・総選挙で大敗し、政権を明け渡した経験から、安倍首相は解散の時期を探っているのではないかと推測される。諸々の問題で内閣支持率が下がっている中で考えられるのは、オリ・パラの後ではないとも言われている。先月 19 日に行われた須坂市長選は、

残念ながら岩田氏の当選とはならなかったし、選挙結果以上に残念だったのが 46%という投票率である。2012 年から続く自公政権は危機的な状況であり、この投票率のままでは、次の総選挙後も自公政権が続いてしまうことになり、次の世代の子どもたちに安心して平和な世の中をつないでいくとはできない。まともな政治を取り戻すため、今を生きる私たちの責任として、必ず投票に行っていていただくことを強く願う。

本日の集会は、高水地協としてこの規模の人数が集まるのは、定期総会と本集会だけであり、限られた時間ではあるが春闘をともに闘う意思固めの場としていただけたらと思う。

### 単組役員研修

### 『働くということと労働組合の役割・責務』

### 連合長野会長 根橋美津人



連合長野 根橋会長

私は、伊那市にあるルビコン労組の出身であり、労組役員を 35 年、所属する「ルビコン」は主に電解コンデンサを製造している。2018 年 11 月の信濃毎日新聞に当社の電子部品を搭載した NASA の火星探査機「InSight」が火星に着いたことで、同僚の社員が紹介された記事が載った。私たちの製造品がどんな製品

になって、どこで使用されているかなど、「自分の仕事が社会にどう役立っているのか」ということを日々実感できるよう、労組からも教育の場で紹介しているし、こうしたことが感じ取れる新聞記事であった。

まずは皆さんに、台風 19 号被害復興の取り組みについてお礼を申し上げるとともに、被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。連合長野は 2018 年より、災害への対応として県や社協、NPO センターなどと連携を深めており、阿部知事からは「平日を中心とした対応をお願いしたい」との要請を受けつつ、10 月 17 日～12 月 14 日の期間、1,280 名の皆さんの協力でボランティア活動を行ってきた。また、農業ボランティアも立ち上げて具体的な活動を実施しており、2 月 16 日から第二弾のボランティア派遣が始まる。引き続き、皆さんの協力を得て現地に寄り添った活動を進めていきたい。ここに「ONE NAGANO」のピンバッチがある。連合本部から意見をもらい、10 月末には阿部知事に対して県からの発信をお願いしてきた。11 月中には「ONE NAGANO」のキャッチフレーズが決まり、1 月 10 日からピンバッチが発売されている。引き続き、被災地が一日も早く当たり前の生活が取り戻せるよう、連合長野としても、また労働組合と一緒に具体的な取り組みを進めていきたい。

私自身、「労働組合は何のためにやっているのか」

を常々考えながら、「豊かに生きる」を実感させたい・実感してほしい」との思いで組合活動を繰り返している。それぞれの豊かさとは何か。当然、賃金・労働条件・可処分所得の向上もあるし、労働環境の改善についても意識しながら安全・安心なものにしていかなければならない。また、自分だけでなく、家族全体の幸せが加わってこそ「豊かに生きる」につながる。毎日が会社と仕事のルーティンでは、中々「豊かさ」を感じられないが、自分の仕事がこんなところで役立っているとの思いを抱きながら、日々を送ることが「豊かな労働」につながり、加えて組合活動が働く人たちの役に立っていることを併せ持って、「豊かに生きる」ことへ繋がると思うが、このことは「終着点はない」という大きな課題がある。

いま信州大学や長野大学で講義する機会をいただいている。その学生たちに「何のために社会に出て働くのか」と質問すると、大半は「お金を稼ぐために働く」との答えであるが、「働くことで社会に繋がっている」との意識を持って、社会に飛び出してほしいとお願いしている。つまり「自分のため」を超えた社会的な意義があり、働いたことによって税金や社会保障費などを払い、社会に貢献していること、そして「自らの仕事が社会に役立つ」ことをシッカリと意識してほしいということである。ただ働くうえでの悩みも多い。こうした「困り事の解決」に向ける取り組みが、私たちの責務であるとも伝えている。

私が大切にしている言葉に、1944 年のフェアデルフェア宣言の「労働は商品ではない」「一部の貧困は時代の繁栄にとって危険である」というものがある。生産性向上が叫ばれて久しいが、労働を商品のように、単に労働コストを下げていくのが生産性向上だと、誤った認識を持っている経営者は多い。今朝の TV は労働問題に触れた番組があり、労働契約をせずに個人請負での仕事が増えているという。その人たちはお金を稼げるかもしれないが、事故に遭ったとき誰が責任を



負うのか。実態は、すべて自己責任という労働スタイルである。私たち労働組合が、こうした現状をシッカリ見据えていかなければならない。

先日、労働組合の組織率が発表され長野県は 18.8%であった。見方を変えると 8 割強の労働者は非組合員であり、賃金や労働条件について経営側と交渉して決める環境にない。私たち労働組合は、このような現状を放っておいて良いのか。組織された私たちが、それぞれの労使交渉で得た成果をシッカリと社会の隅々まで波及していく取り組みをしていかなければ、メンバーシップの幸せさえも導くことができないとの言葉であり、私たちに課せられた役割ではないだろうか。

学生諸君に毎回「働く」は大きな三つのテーマがある」として、一つは社会的意義があること、二つ目に「働くうえではシッカリとしたルールがある」ということであり、就業規則や労働協約など労働基準法を踏まえた「働くうえでのルール」を守ることである。そして三つ目に、「そのルールを策定する際には、必ず働く者が参画しなければならない」ということである。労働組合は、会社側と協議して「働くうえでのルール」を締結しているが、労働組合のないところはいったい誰が作っているのか。社員会のケースもあるが、会社契約の社会労務士がすべてを決めていることが多い。いずれにせよ、現場の息使いを感じてその働き方に合ったルールを作らないと、『仏作って魂入れず』である。長野労働局の審議には必ず労働組合の代表が参画し、県内での働くルールを形成している。国としても、国会審議はもちろん、労働政策審議会の場で連合が入り、ワークルールを形成していく。このことが、私たちに課せられた重大な役割であると解説している。これも毎回のテーマであるが、「学生諸君は労働組合と聞いて、どんなイメージを抱くか」と質問すると、中には「世間に対して文句ばかり言っている異質な団体」という発言が返ってくる。こんな時、消防署のことを例えて話すが、「火事や急病が出た際、消防署はいち早く対処する。また、日常的に火事を未然に防ぐ取り組みをしつつ、いつ・どこで・何かがあった時に早期対応できるよう組織を整備し、ルールを作るなどの防

災活動を行っており、一方の労働組合も、職場や組合員に問題が生じれば、すぐに駆け付け対処していく。そして、経営側と対等な立場で問題の解決に向けた話し合いをするのも私たちの役割であり、消防署がやっているのと同じだ」と実際の行動や活動を紹介しながら、彼らに説明している。

身体の神経組織の役割を例えて、「経営側が『頭部』とすれば、怪我などあったときこの神経を通して頭部（経営側）に伝える役割を労働組合が担っている」と話すが、怪我が起こった時にどう神経へ伝えるか。やはり、組合員が労組役員を信頼していないと伝達機能がうまく働かないことも事実である。ある民間の職制表をみると、会社で決定したことは職制を通じて働く者へストレートに下りてくるが、職場で問題が発生した時は社長へストレートに伝わっているのか。役席になると上司は「職場は問題がある」とは中々言えない状況があり、社長へ伝えるうちに職場で起きた問題が、何事も無かったようになることが多々ある。そんな時も経営トップに直接話ができるのは労働組合の最大の特徴・メリットである。企業は「お金の結合体」と「人の結合体」の両方が揃わないと成り立たないが、経営側は「お金の結合体」ばかりを気にしていることが多い。そうであれば、「人の結合体」の面倒をみるのは労働組合の役割であり、将来働き続けられる能力について経営側と話し合い、それを組合員教育に取り入れていくことも必要であるし、会社側と対等な立場で交渉できる、それが労働組合の役割であろう。

先日、労働組合を結成した会社の社長との意見交換で「最近、会社側に阿る（おもねる／意味：媚びを売って気に入られるような言動をとる）、あるいは言いなりになる社員が多くなり、こんな状態を放っておけば会社は発展しないと思い、当社にも労働組合を作り、日頃の問題や改善などについて話し合いができる環境にしたいと思った。ただ、最近の労働組合の実態を探ると、会社に阿っているばかりで、職場の声を経営側へ正確に伝えることが少ないと感じる」と言われた。こうした発言を受けて、「実際に私たちの労働組合はどのようなだろう」と考えさせられた。あらためて労使関係の基本である「信頼できる健全な労使関係」が、労使双方で少し履違っているケースがあると感じる。前述したように、会社側へ阿るのが信頼関係ではないし、会社側の言うことを単に聞いて、それを鵜呑みにしているのも信頼ある労使関係ではない。シッカ



連合長野 小松事務局長

＜情勢報告＞  
長野電鉄労組

しなの富士通労組

りと労働組合の役割を持ち、会社側と対等な立場で交渉できる、そのことが信頼感のある労使関係である。そのことをもう一度、私たち自身が確認していかなければならない訳であり、今春季生活闘争では「健全な労使関係の構築」「定期的な労使協議の確認」との方針を掲げた。様々な問題を日常のかつ通年に亘って会社側と協議ができるという組織をめざしていかなければ、私たちの最大のメリットを発信することはできない。そして、歴史観・時代観の中で価値観を見出していくことが、必要であることも発信したい。

私たちの労働運動は、労働組合期成会に始まり、そ

して労働団体の分裂、さらに 30 年前の連合への統一など長い歴史を辿っている。しかし、どんな時代にあっても働く仲間の「困り事」を踏まえて、それぞれ「豊かに生きる」のために具体的な行動を起こしていくことこそが歴史観ではないか。連合は昨年 11 月 21 日に結成 30 年を迎え、連合長野は紆余曲折があつて本年 2 月 28 日に結成 30 年を迎える。先人達の思いを継承しながら、「不易流行の体現で、次なる価値を創り出す源泉となろう」をスローガンに、連合運動を前進させていきたい。

ONE NAGANO”はみんなで復興に取り組もう！！という合言葉です。

### "ONE NAGANO"～想いをひとつに～



台風第 19 号の被災地では、被災された方々と共に、ボランティアや企業・団体など、多くの皆さんが声を掛け合い、励まし合いながら復旧を進めてきました。

私達は、いまだに辛く、不安な思いをされている方がいるという事実を重く受け止め、一人ひとりの暮らし

や生業の再建への歩みを加速し、誰一人取り残されることのない復興を目指す決意です。今必要なのは、あなたの想いです。あなたの想いが多くの方と繋がり、地域に活力を取り戻すための大きな力になります。想いをひとつに、互いに支え合いながら、一日も早い復興に向けて進み続けましょう。

令和元年 11 月 25 日

長野県、長野県市長会、長野県町村会、長野県災害時支援ネットワーク、長野県社会福祉協議会

寄付金が付いた県の PR キャラクター「アルクマ」のピンバッジが 10 日に発売される。価格は 550 円（税込み）で、このうち 100 円が「県台風第 19 号災害対策本部」に寄付される。

台風 19 号からの復興に向けた合言葉「ONE NAGANO（ワンナガノ）」と記された看板をアルクマが持ったデザイン。県庁やエムウェーブ

の売店、JR 長野駅ビル「MIDORI 長野」、東京・銀座のアンテナショップ「銀座 NAGANO」などで販売する。

熊谷晃・信州ブランド推進監兼営業局長は「県内外の多くの人を買ってもらい、被災地の復興に役立てたい」としている。

### 春闘オルグ

「私たちが未来を変える！すべての労働者の『底上げ』『底支え』『格差是正』と働き方の見直しで！」のスローガンのもと、1 月 17 日の連合長野地方委員会

### 情勢報告・闘争開始宣言の採択

情勢報告は単組を代表して、長野電鉄労組およびしなの富士通労組より行い、春季闘争開始宣言は青木副議

Organizer：連合長野事務局長 小松 豊  
で確認した春闘方針について、小松事務局長より説明を受けました。

※紙面の都合により内容を割愛します。

長の提案を満場一致にて採択され、第一部を閉会し単組交流会へ移りました。

以上

**連合から「当面の間は集会の自粛を」との通達を受けて 3 月 3 日（火）須高地区、3 月 4 日（水）北信地区それぞれの春季生活闘争総決起集会を中止することと致しました。**